令和４年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

美　術

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第１問題　次の指示に従い、Ⅰ、Ⅱのいずれかを解答せよ。

・中学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・高等学校受験者は、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・特別支援学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］または、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］のいずれかを選択して解答すること。

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年告示）「第２章　第６節　美術」の一部である。後の問に答えよ。

第１　目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、①造形的な見方・考え方を働かせ、［ a ］や［ b ］の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）対象や事象を捉える［ c ］について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、［ d ］を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、②美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、［ e ］を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな［ f ］を培う。

第２　各学年の目標及び内容

〔第２学年及び第３学年〕

２　内容

A　表現

（２）表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。

ア　［ g ］をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

（ア）材料や用具の［ h ］を生かし、③意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。

（イ）材料や用具、表現方法の［ h ］などから制作の順序などを総合的に考えながら、［ i ］をもって表すこと。

問１　［ a ］～［ i ］にあてはまる語句を答えよ。

問２　下線部①について、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編　第２章　第１節　美術科の目標」において、造形的な見方・考え方を働かせる視点として［ c ］について触れている。［ j ］にあてはまる語句を答えよ。

［ c ］とは、造形を［ j ］であり、形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点のことである。

問３　下線部②について、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編　第２章　第１節　美術科の目標」において、鑑賞の学習は自分の中に何を作り出す創造活動であると示されているか、答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

問4　下線部③について、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編 第3章 第2節 第2学年及び第3学年の目標と内容 2内容 A表現」では、「指導に当たっては、次の各点に留意する必要がある」として次のように示している。［ k ］～［ m ］にあてはまる語句を答えよ。

一つ目は、(略)
二つ目は、多様な表現方法を保証し、生徒が表したいことをこれまで学んだことなども生かしながら具体的な形にしていく中で、生徒自らが感じた［ k ］から工夫が行われるようにすることである。(略)
三つ目は、様々な表現方法や材料の［ l ］などを学ぶことである。(略)
四つ目は、描いたりつくったりしながら偶然にできた表現の［ m ］を捉えて生かすことや、これまで体験した材料や用具の［ h ］を組み合わせて用いることである。(略)

問5　障害のある生徒などの指導に当たっては、中学校美術科における配慮として次のようなものが考えられる。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編」を踏まえ、［ n ］～［ q ］にあてはまる語句を答えよ。

例えば、形や色彩などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合などにおいて、生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の［ n ］や［ o ］が分かりやすいものを例示することや、一人一人が［ p ］が選べるように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を［ q ］、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示したりするなどの配慮をする。

2025 kyosai-guild.jp

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］

次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）「第2章 第7節 芸術 第2款 第4 美術Ⅰ」の一部である。後の問に答えよ。

1　目標

美術の幅広い創造活動を通して、①造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、［a］や［b］の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）対象や事象を捉える［c］について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（2）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、［d］を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（3）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、［e］を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく［f］を養う。

2　内容

A　表現

（2）デザイン

デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　目的や機能などを考えた［g］

（ア）目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成すること。

（イ）デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、②創造的な表現の構想を練ること。

イ　［g］をしたことを基に、創造的に表す技能

（ア）意図に応じて材料や用具の［h］を生かすこと。

（イ）表現方法を創意工夫し、［i］を基に創造的に表すこと。

問1　［a］～［i］にあてはまる語句を答えよ。

問2　下線部①について、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「芸術編 音楽編 美術編 第1部 芸術編 第2章 各教科 第4節 美術Ⅰ 2目標」において、造形的な見方・考え方を働かせる視点として［c］について触れている。［j］にあてはまる語句を答えよ。

［c］とは、造形を［j］であり、形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点のことである。

問3　デザインについて、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「芸術編 音楽編 美術編 第1部 芸術編 第2章 各教科 第4節 美術Ⅰ 3内容 A表現（2）デザイン」では、各デザインの内容において次のように示している。［k］～［m］にあてはまる語句を答えよ。

例えば、装飾に関するデザインでは、色彩感覚や構成力などを総合的に働かせて、形や色彩、材料など造形の要素の効果を生かし、造形的に美しく構成したり装飾したりすることが大切である。

視覚伝達に関するデザインでは、公共性や伝達性を考えて視覚的に情報を伝えるための、形や色彩などによるコミュニケーションの［k］について実感させることが大切である。

使うものに関するデザインでは、使用する人の［l］や、使用する場などに求められる機能と美しさとの調和や、材料の性質や構造などを総合的に考えることが大切である。

環境に関するデザインでは、身近な生活環境や人々が交流する場などにおける［m］を発見し、生活や社会を美しく豊かにする観点から、デザインがもつ機能や効果を生かして［m］の解決や質的な向上を図ることができるようにすることが大切である。

2025 kyosai-guild.jp

問4　下線部②について、デザインにおける「創造的な表現の構想を練ること」とは、どのような視点に立って構想を練ることだと示しているか、答えよ。

問5　障害のある生徒などの指導に当たっては、高等学校芸術科（美術）における配慮として次のようなものが考えられる。高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「芸術編 音楽編 美術編」を踏まえ、［ n ］～［ q ］にあてはまる語句を答えよ。

美術において、形や色彩、材料などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合などでは、生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の［ n ］や［ o ］が分かりやすいものを例示することや、主題に応じて一人一人が［ p ］が選べるように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を［ q ］するなどの配慮をする。

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　生き生きとした動きや躍動する人体を捉え、その美しさを粘土を用いて表現する学習活動を行う。資料1を読み、後の問に答えよ。

資料1＜学習活動の流れ＞

① 学習内容等を知る。
② 人物を対象とした動きのある彫刻作品を鑑賞し、作者の心情や意図に応じた多様な表現について考える。
③ ワークシートに描くなどの活動を通して、自分の中で強く表したいことを思い描き、そのことを基に構想を練る。
④ 自分の意図に合う表現方法を工夫して表す。
⑤ お互いの完成した作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合う。

問1　②, ③, ⑤の活動では、お互いの見方や感じ方、考え方などの交流や、言葉などで自分の考えを整理したりしている。このことについて、学習指導要領には次のように示されている。［ i ］～［ iii ］にあてはまる語句を答えよ。

＜中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編」＞
自己との対話を深めることや、①〔共通事項〕に示す事項を視点に、表現において［ i ］に対する意見を述べ合ったり、［ ii ］において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりすることなどの「対話的な学び」の視点が重要である。このような［ iii ］を図ることで、お互いの見方や感じ方、考えなどが交流され、新しい見方に気付いたり、価値を生み出したりすることができるようになる。

＜高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「芸術編 音楽編 美術編」＞
「A表現」及び「B鑑賞」の指導において、［ i ］に関する資質・能力や［ ii ］に関する資質・能力を育成する観点から、①〔共通事項〕に示す事項を視点に、アイデアスケッチなどを用いて構想を練ったり、レポートを作成するなど言葉で考えを整理したりすることが大切である。また、価値意識をもって批評し合い討論する機会を設け、自他の見方や感じ方の相違などを捉えて、対象の見方や感じ方を深めるなどの［ iii ］を図るようにする。

問2　学習活動のねらいを達成するために、造形の要素などに着目して実感的に理解できるようにしたい。下線部①〔共通事項〕に示すアの事項を踏まえ、着目させたい造形の要素を答えよ。

問3　彫刻は技法の違いによって二種類に分けられる。（1）、（2）を何というか、答えよ。

（1）粘土のような可塑性のある素材を心棒などにつけて制作すること

（2）木や石などの塊を彫って制作すること

問4　心棒をつくる際にラジオペンチとペンチ等を用いているが、事故防止の観点から中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編」及び、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「芸術編（美術Ⅰ）」には次のように示されている。［ iv ］～［ vi ］にあてはまる語を答えよ。

事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの［ iv ］の指導と［ v ］、［ vi ］における安全指導などを徹底するものとする。

2025 kyosai-guild.jp

問5　表現と鑑賞の指導の関連について、後の（1）、（2）に答えよ。

（1）本題材において、表現と鑑賞の指導の関連を図る際には、どんなことが大切だとしているか。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「美術編」及び、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「芸術編（美術Ⅰ）」を踏まえ、［vii］、［viii］にあてはまる語句を答えよ。

表現と鑑賞の指導の関連を図る際には、鑑賞の学習において、単に表現のための参考作品として、表面的に作品を見るのではなく、発想や構想と鑑賞の学習の双方に働く［vii］を軸にそれぞれの［viii］を高められるようにすることが大切である。

（2）本題材の表現に関する事項（中学校：「A表現」（1）ア（ア）、高等学校：「A表現」（1）ア）と関連する鑑賞の事項をⅠ～Ⅳから選び、記号で答えよ。

Ⅰ　B鑑賞ア（ア）　　Ⅱ　B鑑賞ア（イ）　　Ⅲ　B鑑賞イ（ア）　　Ⅳ　B鑑賞イ（イ）

第3問題　造形表現に関する次の問に答えよ。

問1　色彩や配色について、次の文章を読み、［ア］～［エ］にあてはまる語を答えよ。

色相環で向かい合う位置にある二つの色の関係のことを［ア］と呼び、［ア］の色どうしを混ぜると、［イ］に近い色になる。

同じ大きさの色面でも、一般に［ウ］系で明度や彩度の高い色は膨張して大きく感じ、前に進出して見える。また、［エ］系の色は収縮し、後退して見える。

問2　構成美の要素やモダンテクニックについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）性質が反対の形や色を組み合わせることで、強い効果を出すことを何というか、答えよ。

（2）クレヨンで絵を描き、その上から水彩絵の具を塗ると、クレヨンが水をはじき、描いた絵が浮かび上がる技法を何というか、答えよ。

問3　彫刻、版画について、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）木には、木目があり、彫りにくい方向を逆目というが、彫りやすい方向を何というか、答えよ。

（2）凹版の一種で、樹脂板やアルミ板、銅版などをニードルで彫り、彫った線にインクを詰めてプレス機で刷る版種を何というか、答えよ。

問4　映像メディアの活用について、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）ソーマトロープやパラパラ漫画のように、まるで絵が動いているかのように見える現象を何というか、答えよ。

（2）図1のようにタブレット端末などの画面上で、コンピュータグラフィックスと現実の風景を重ねる技術のことを何というか、答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図1

2025 kyosai-guild.jp

第4問題　図版ア～コについて、次の問に答えよ。(図版は8／9枚目)

問1　図版アについて、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）作者名を答えよ。

（2）この作品に使われている技法で、背景が遠ざかるにつれて色調が淡く青みを帯びる表現は何か、答えよ。

（3）同時代に活躍した調和のとれた穏やかな表現で描かれた聖母子像を得意とする画家は誰か、答えよ。

問2　図版イについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）図版イは、2011年にニュージーランドのクライストチャーチで起きた地震で倒壊してしまった大聖堂の代わりに建てられた、仮設の大聖堂である。この大聖堂の日本人設計者は誰か、答えよ。

（2）住民の心のよりどころだった大聖堂をいち早く再建するために使用された建造物の安価で手に入りやすい素材は何か、答えよ。

問3　図版ウについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作者名と作品名を答えよ。

（2）図版ウのようにあるがままの現実を超えた、非現実の世界を描き出していく20世紀前半の芸術運動を何というか、答えよ。

問4　図版エについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作者名を答えよ。

（2）禅宗とともに中国から日本に伝わったこの作品の制作技法は何か、答えよ。

問5　図版オについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作者名を答えよ。

（2）図版オは鮭の皮や身の生々しい質感がとらえられ、日本画では省略される［　a　］が描かれていることも、鮭の質感を高めている。［　a　］にあてはまる語を答えよ。

問6　図版カの作者名を答えよ。

問7　図版キについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作者名を答えよ。

（2）19世紀後半、日本の開国をきっかけに日本の工芸品や浮世絵、着物などがヨーロッパで知られるようになると、日本美術に対する関心が一気に高まり、流行した。このような動向を何というか、答えよ。

問8　図版クを描いた浜田市出身の画家は誰か、答えよ。

問9　図版ケについて、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）作者名を答えよ。

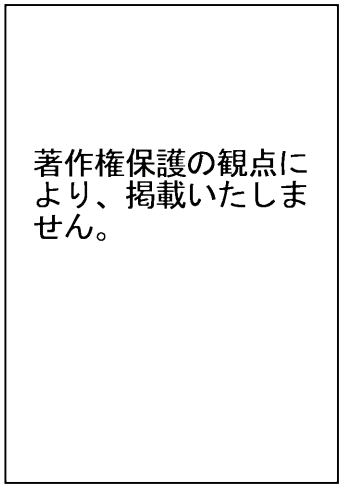
（2）美術館から飛び出して広場や道路や公園など公共的な空間に設置された美術作品のことを何というか、答えよ。

問10　図版コの作者名を答えよ。

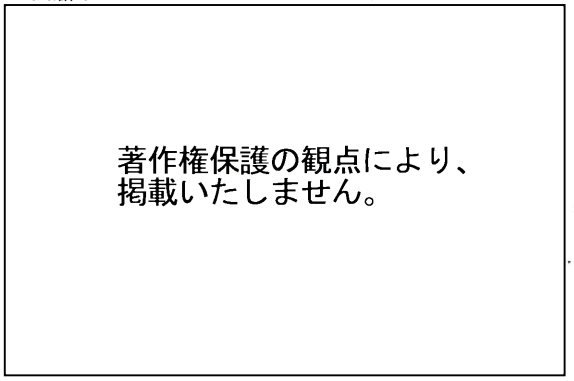
問11　図版ウ、図版エ、図版オ、図版コについて、制作された年代の古い順に並び替え、その記号を記せ。

2025 kyosai-guild.jp

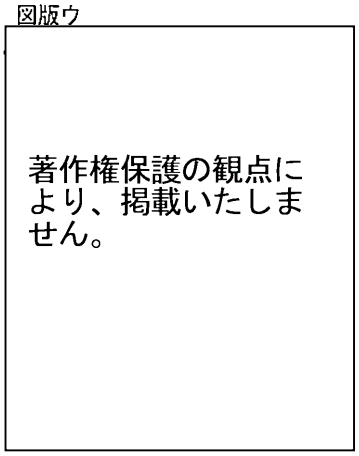
図版ア



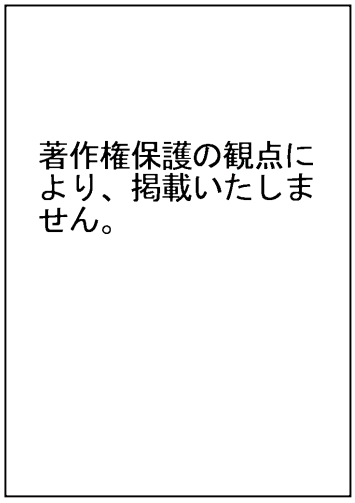
図版イ



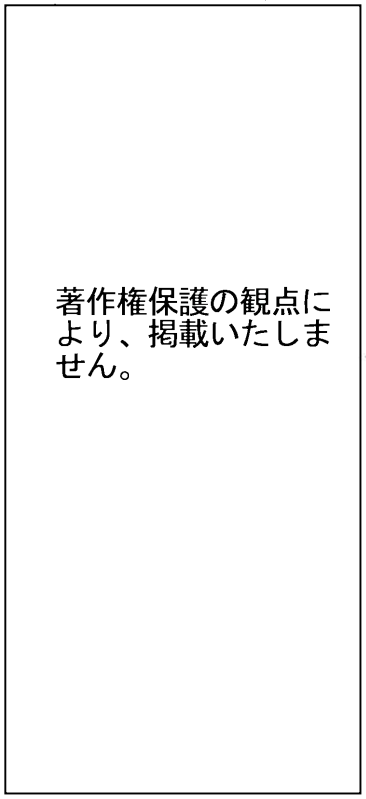
図版ウ



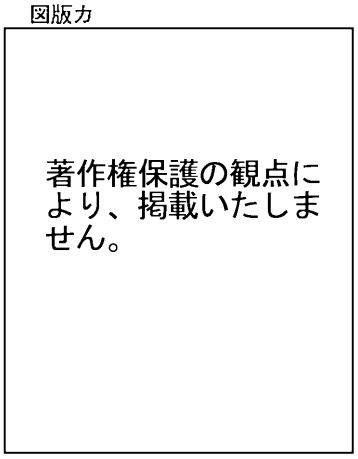
図版エ



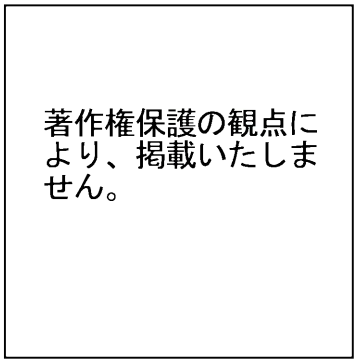
図版オ



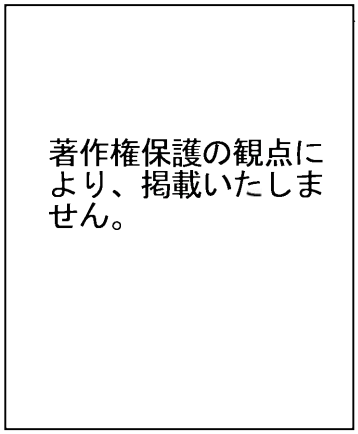
図版カ



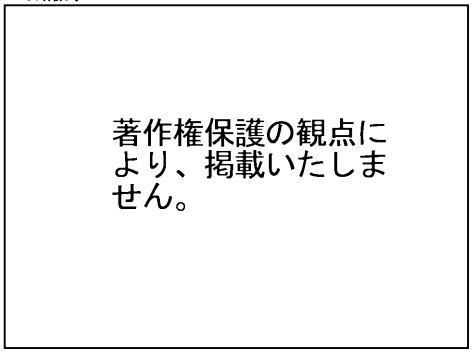
図版キ



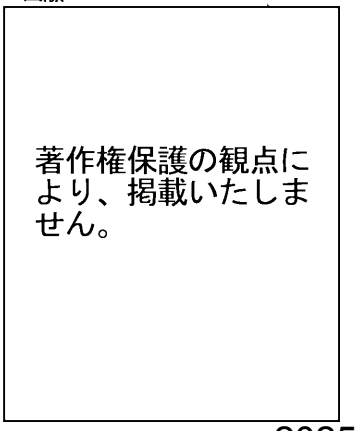
図版ク



図版ケ



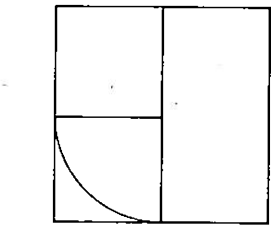
図版コ



2025 kyosai-guild.jp

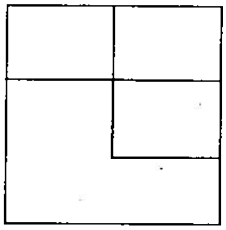
美　術	9／9枚中

第5問題　次の図は立体を三つの方向から見たものである。三つの図から考えることのできる立体を下の条件に従って描け。

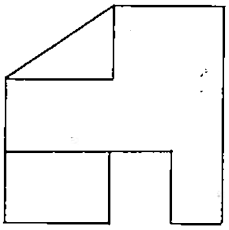


平面図

光源（平面図）



側面図



立面図

光源（立面図）

＜条件＞

① 描く図は、平面図で示すと、矢印（→）の方向から見た鳥瞰図とする。

② 光源は、平面図・立面図で示すと◎にあるものとする。

③ 材質は石膏で白い紙の上に置いてあると想定し、陰影をつけて描写する。

④ 鉛筆のみを使用する。

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解答例　　美　術　　1／4枚中

受験番号

第１問題

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

問１	a	生活（１点）	b	社会（１点）	c	造形的な視点（２点）
	d	主題（１点）	e	感性（１点）	f	情操（１点）
	g	発想や構想（２点）	h	特性（１点）	i	見通し（１点）
問２	j	豊かに捉える多様な視点（２点）				
問３	新しい意味や価値（２点）					
問４	k	必要性　（１点）	l	生かし方　（１点）		
	m	効果（１点）				
問５	n	特徴（１点）	o	働き（１点）		
	p	自分に合ったもの（１点）	q	絞ったり（１点）		

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］

問１	a	生活（１点）	b	社会（１点）	c	造形的な視点（１点）
	d	主題（１点）	e	感性（１点）	f	態度（１点）
	g	発想や構想（２点）	h	特性（１点）	i	目的や計画（２点）
問２	j	豊かに捉える多様な視点（２点）				
問３	k	有効性（１点）	l	心情（１点）		
	m	課題（１点）				
問４	客観的な視点（に立って構想を練ること）（２点）					
問５	n	特徴（１点）	o	働き（１点）		
	p	自分に合ったもの（１点）	q	絞ったり（１点）		

2025 kyosai-guild.jp

第２問題

問１	i	発想や構想（１点）	ii	鑑賞（１点）
	iii	言語活動の充実（２点）		
問２	（余白や空間の効果、立体感や遠近感、）量感や動勢（を捉えること）　（２点）			
問３	（１）	塑造（１点）	（２）	彫造（彫刻）（１点）
問４	iv	使い方（１点）	v	保管（１点）
	vi	活動場所（１点）		
問５	（１）	vii　中心となる考え（２点）	viii	資質・能力（２点）
	（２）	i　（１点）		

2025 kyosai-guild.jp

第３問題

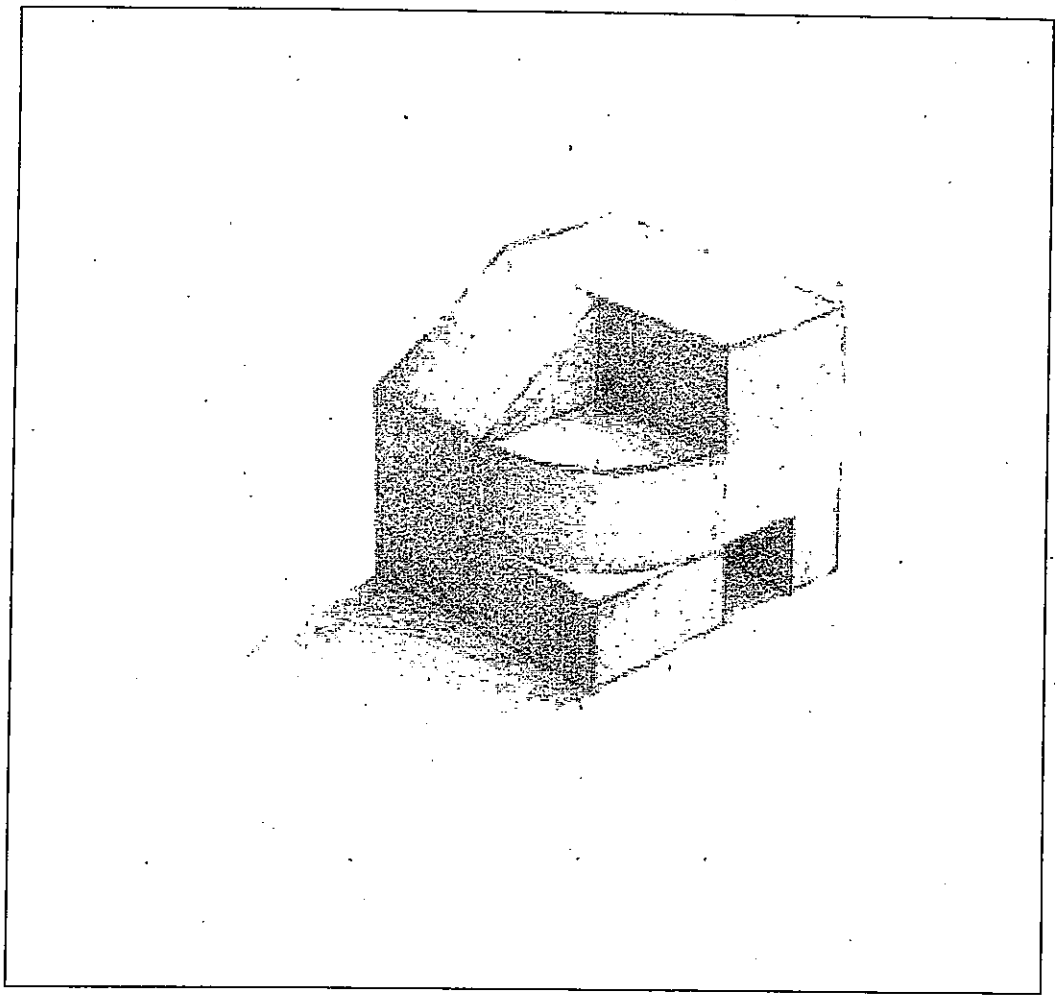
問１	ア	補色　（2点）	イ	無彩色　（2点）
	ウ	暖（色）　（2点）	エ	寒（色）　（2点）
問２	（１）	コントラスト（対比・対立）　（2点）	（２）	バチック（はじき絵）　（2点）
問３	（１）	順目（ならい目）　（2点）	（２）	ドライポイント　（1点）
問４	（１）	残像（現象）　（2点）	（２）	拡張現実（AR）　（2点）

第４問題

問１	（１）	（レオナルド・）ダ・ヴィンチ（1点）	（２）	空気遠近法　（2点）	
	（３）	ラファエロ（・サンティ）（1点）			
問２	（１）	坂　茂　（2点）	（２）	紙　（2点）	
問３	（１）	作者名 （ルネ・）マグリット　（1点）	作品名 大家族　（1点）		
	（２）	シュルレアリスム（超現実主義）（2点）			
問４	（１）	雪舟（等楊）　（1点）	（２）	水墨画（墨画）　（1点）	
問５	（１）	高橋由一　（1点）	（２）	a	影　（1点）
問６	（ヘンリー・）ムーア　（1点）				
問７	（１）	（エミール・）ガレ　（1点）	（２）	ジャポニスム（日本趣味）　（2点）	
問８	橋本明治　（1点）				
問９	（１）	イサム・ノグチ　（1点）	（２）	パブリックアート（2点）	
問10	（ジョルジュ・ド・）ラ・トゥール（2点）				
問11	エ→コ→オ→ウ　（2点）				

2025 kyosai-guild.jp

第５問題



2025 kyosai-guild.jp